

【様式】

政 務 活 動 一 覧

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
	R7. 4. 7	鳥取市	議会棟	男女協働未来創造本部、輝く鳥取創造本部、地域社会振興部、農林水産部、危機管理部令和の改心戦略本部、福祉保健部、商工労働部 県執行部関係職員	代表質問勉強会	406
R7. 5. 13～14	R7. 5. 13 9:00～16:30	大阪府大阪市此花区	大阪・関西万博	(公社)2025年日本国際博覧会協会、鳥取県関西本部大阪・関西万博課 亀谷課長ほか関係職員	鳥取県における万博の活用に関する視察調査	活動報告(県外) 1のとお
R7. 6. 30～7. 1	R7. 7. 1 10:30～18:30	大阪府大阪市此花区	大阪・関西万博	鳥取県中原統轄監、鳥取県関西本部森本本部長ほか関係職員	「今日是一日鳥取県」における万博の活用に関する視察調査	活動報告(県外) 2のとお
R7. 9. 8～9	R7. 9. 8 13:00～16:30	高知県南国市、高知県高知市	高知大学物部キャンパス、高知県庁	高知大学深田教授、高知県水産業振興課土居課長ほか関係職員	鳥取県の水産業振興のための視察調査	活動報告(県外) 3のとお
R7. 9. 8～9	R7. 9. 9 13:30～17:40	東京都千代田区	駐日インド共和国大使館	シビ・ジョージ駐日インド特命全権大使ほか関係者、鳥取県輝く鳥取創造本部 鈴木本部長ほか関係職員	駐日インド大使館「インドととりデー」における交流促進に関する視察調査	活動報告(県外) 4のとお

R7. 9. 22 ~ 23	R7. 9. 23 10:00~11:30	東京都港区	とっとり・おかやま新橋館	鳥取県東京本部、鳥取県・岡山県共同アンテナショップ運営協議会事務局ほか関係者	関係人口・移住人口創出に向けた「とっとり・おかやま新橋館」の視察調査	活動報告（県外）5 のとおり
R7. 10. 8 ~ 10	R7. 10. 9 11:30~16:05 R7. 10. 10 10:00~11:00	東京都千代田区	総理官邸、内閣府、参議院議員会館 領土・主権展示館	石破内閣総理大臣、赤沢経済再生担当大臣、青木内閣官房副長官、舞立参議院農林水産委員長、藤井参議院議員、出川参議院議員ほか関係者・関係職員 石井領土・主権展示館事務局長ほか関係職員	地方創生など鳥取県の発展のための要望・意見交換、及び、我が国の領土・主権に関する調査・研究	活動報告（県外）6 のとおり
R7. 10. 21 ~ 22	R7. 10. 22 9:45~11:00、12:10~13:30	東京都千代田区	株式会社スペースシフト 衆議院第二議員会館、参議院議員会館	株式会社スペースシフト 金本社長ほか会社関係者 金子国土交通大臣、沓掛国土交通省道路局長ほか関係者	衛星データを活用した取組に関する調査・研究、及び、中海・宍道湖8の字ルート整備促進に向けた要望・調査	活動報告（県外）7 のとおり

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

【様式】

活動報告（県外） 1

議員名：河上 定弘

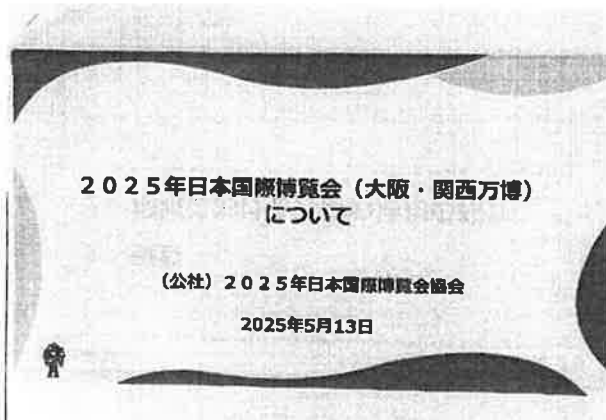
活動事項	鳥取県における万博の活用に関する視察調査
活動年月日	R 7 年 5 月 1 3 日（火）移動日、宿泊 同上 1 4 日（水）9：00～16：30 ・自治体向け研修「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）について」 ・関西パビリオン 鳥取県ゾーンほか ・海外パビリオン インド共和国、タイ王国、ほか ・国連パビリオン
場所	大阪・関西万博（大阪府大阪市此花区）
活動の相手方	（公社）2025 年日本国際博覧会協会、鳥取県関西本部大阪・関西万博課 亀谷課長ほか関係職員
活動の目的	鳥取県として、大阪・関西万博をいかに誘客促進や経済効果の拡大に活用するかを検討するため、現地調査や関係者との意見交換を行い、万博開催期間中の具体的な対応策や今後の県施策への提言・反映につなげることを目的とする。
活動の内容	・（公社）2025 年日本国際博覧会協会開催の自治体向け研修に参加し、万博の概要説明を受けるとともに、各自治体が万博をどのように活用すべきかについて、具体例を交えて、意見交換を行った。 ・関西パビリオン内の鳥取県ゾーンを訪問し、没入型展示を体験し、とっとりアル・パビリオンへといかに繋げていくのか、意見交換を行った。 ・海外パビリオン、国連パビリオンなどを視察し、各国、各機関についての理解を深めるとともに、将来に向けた課題解決のための新技術や社会実装について学んだ。
活動の結果等	・研修会で、万博と観光を組み合わせる誘客促進を図るためには、観光ポータルサイトの活用が重要であると認識した。県としても万博事務局と緊密に連携し、万博を最大限に活用できるよう提案していきたい。 ・また、海外とのビジネスマッチングの機会が多くあるとのことであり、サンド・アライアンスも活用しつつ、海外との連携や新たなきっかけづくりについて研究・提案を進めていきたい。 ・鳥取ゾーンの没入型体験は非常に完成度が高く、今後これをいかに実際の鳥取県への誘客につなげていくか、議会などで提案・議論していきたい。 また、7 月に鳥取デーの開催も予定されていることから、効果的な事業の提案も行っていきたい。 ・海外、民間が取り組んでいる現在の諸問題に関する課題解決に向けた先駆的な取組を、鳥取県においても活用できないか、調査、研究して、議会などでの提案、議論に繋げたい。
関連領収書番号	407, 408, 409, 501, 505, 506, 507, 508



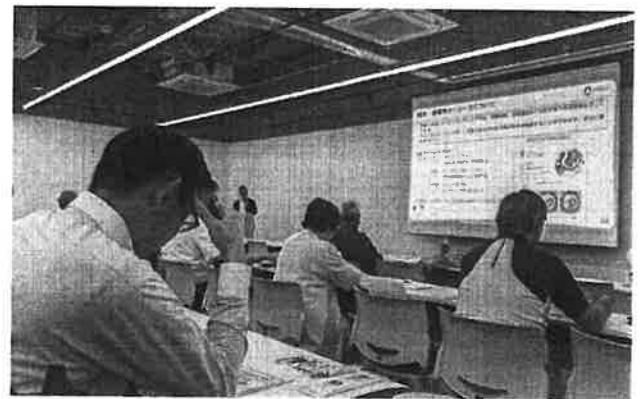
万博入口前



万博会場内



自治体向け研修テキスト



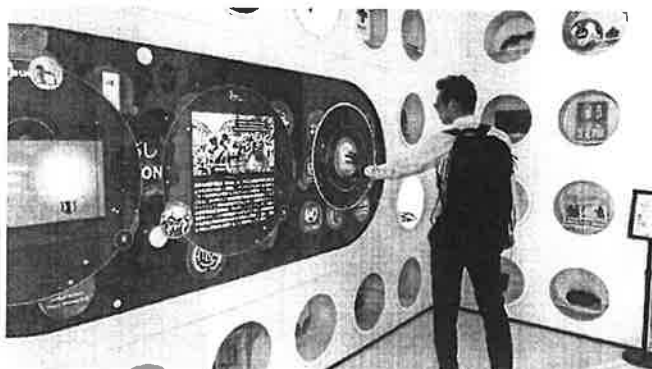
自治体向け研修



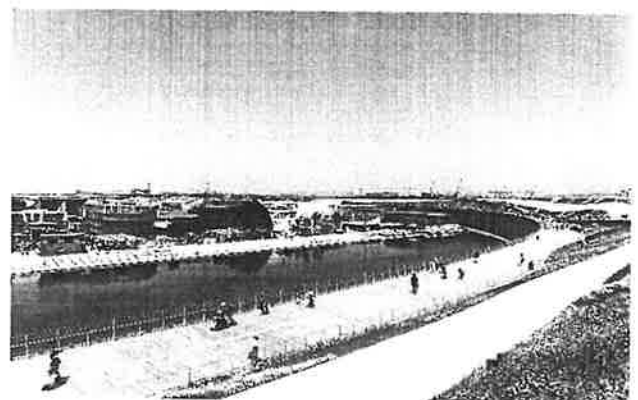
関西パビリオン鳥取県ゾーン



虫眼鏡デバイスを使った鳥取の魅力発見



国連パビリオン視察



大屋根リングより全景

【様式】

活 動 報 告（県外） 2

議員名：河上 定弘

活 動 事 項	「今日是一日鳥取県」における万博の活用に関する視察調査
活 動 年 月 日	R 7 年 6 月 3 0 日（月）移動日、宿泊 7 月 1 日（火）10：30～18：30 ・「今日是一日鳥取県～まんが王国ととりの魅力～」関連イベント ・関西パビリオン 鳥取県ゾーンほか ・とっとり牛骨ラーメン
場 所	大阪・関西万博（大阪府大阪市此花区）
活 動 の 相 手 方	鳥取県中原統轄監、鳥取県関西本部森本本部長ほか関係職員
活 動 の 目 的	大阪・関西万博における鳥取県イベント「今日是一日鳥取県～まんが王国ととりの魅力～」に参加し、鳥取県の魅力をいかにPRし、誘客促進や経済効果の拡大に結び付けられるかを検証するとともに、その成果を踏まえた提案を行い、今後の取組へ活かすことを目的とする。
活 動 の 内 容	・「今日是一日鳥取県」の関連イベントとして実施された郷土芸能ステージやEXPO ホール（シャインハット）でのステージイベントに参加、鳥取県のPR状況などの検証を行った。 ・期間限定でORA 外食パビリオンに出店されている「とっとり牛骨ラーメン」の状況調査を行った。 ・関西パビリオン内の鳥取県ゾーンを再訪し、入場者の動向や反応などを確認するとともに、とっとりアル・パビリオンへの誘導、連携の在り方について意見交換を行った。
活 動 の 結 果 等	・「とっとり牛骨ラーメン」については、出店2日目であったが、昼時には長蛇の列ができるほどの盛況ぶり、高い評価を得ていた。今後の積極的なPRにより、鳥取県を代表する“キラーコンテンツ”としての展開が大いに期待できることから、様々な提案を行っていきたい。 ・郷土芸能「因幡の傘踊り」「高城牛追掛節」「淀江さんこ節」は、何れも観客の声援受け、大いに盛り上がり、鳥取県に関心を持っていただく契機となっていた。今後、鳥取県をPRするため、また繋ぎ伝えておられる関係者の励みのためにも、機会の創出などを提案していきたい。このような伝統郷土芸能を守り伝えていくことは地域の活力にも繋がるものであると信じているので、今後もぜひ支援していきたい。 ・ステージイベントや鳥取ゾーンを通じて、改めて「マンガ」は鳥取県の強力なキラーコンテンツであると実感した。インバウンドを含む県外者に鳥取県を知り、来県してもらうきっかけになると感じた。今後の有効な施策などについて、議会などを通じて提案、議論していきたい。
関連領収書番号	704



関西パビリオン前



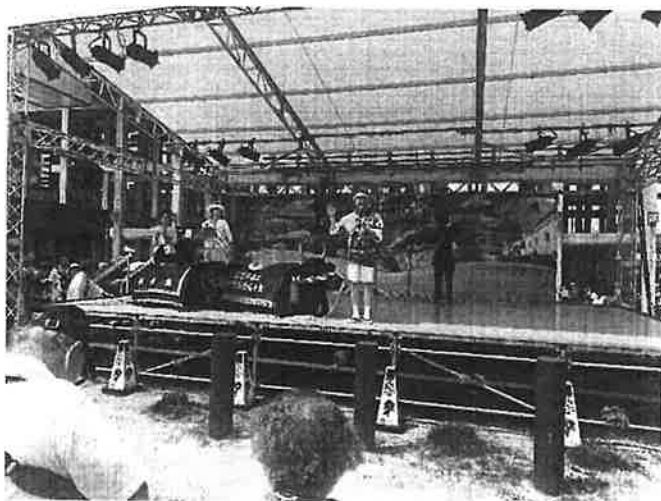
とっとり牛骨ラーメン出店



関西パビリオン鳥取ゾーン前



鳥取ゾーン内（鳥取の魅力発見）



屋外ステージイベント



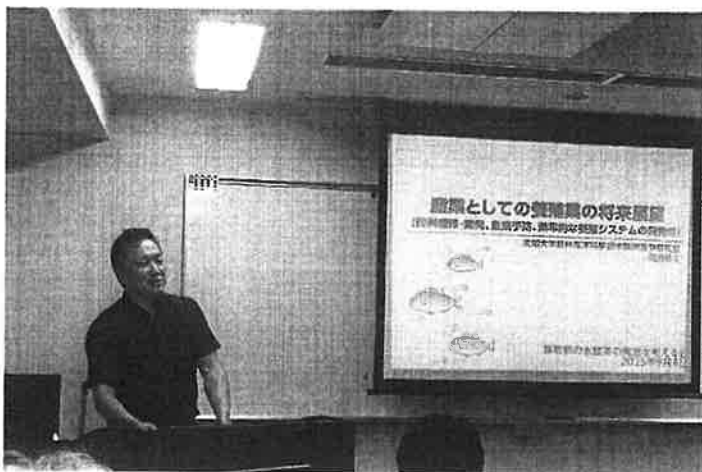
屋内ステージイベント

【様式】

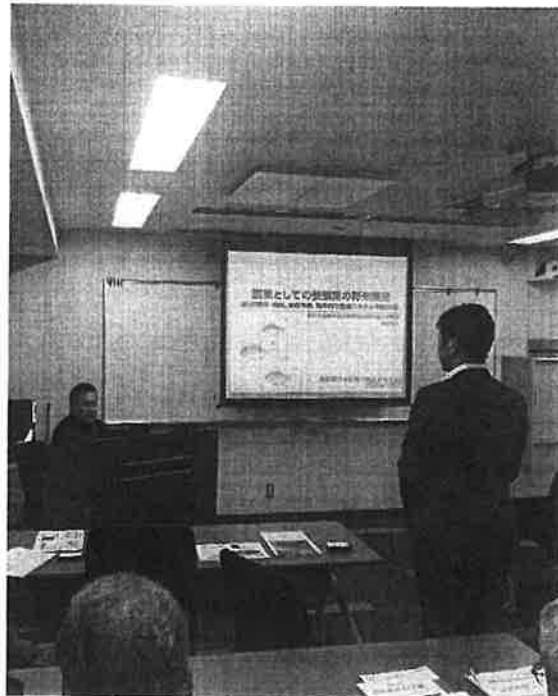
活動報告（県外） 3

議員名：河上 定弘

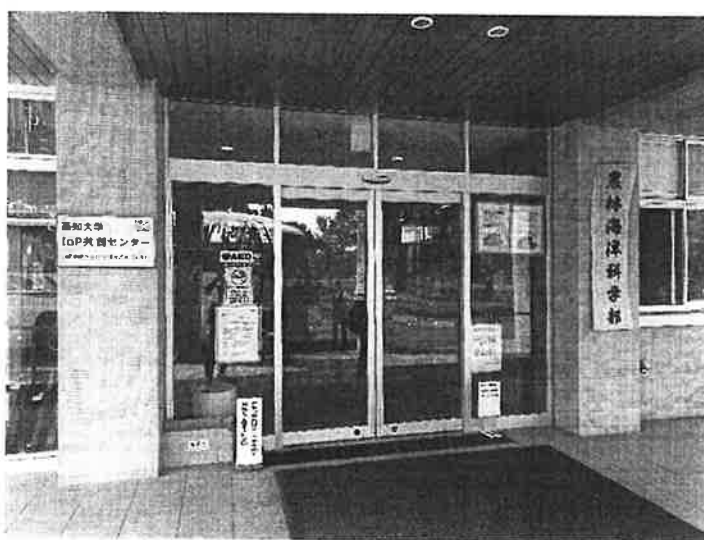
活動事項	鳥取県の水産業振興のための視察調査
活動年月日	R 7 年 9 月 8 日（月）移動、宿泊 13：00～16：30 政務活動
場所	高知大学物部キャンパス（高知県南国市物部） 高知県庁（高知県高知市丸ノ内）
活動の相手方	高知大学深田教授、高知県水産業振興課土居課長ほか関係職員
活動の目的	高知大学深田研究室の先駆的な養殖業の取組を調査するとともに、高知県が推進する水産業における女性の活躍促進について意見交換を行い、持続可能な県内養殖業の発展に資する提言や今後の取組へと繋げることを目的とする。
活動の内容	・高知大学物部キャンパスの深田教授を訪問し、飼料の確保、魚病予防や効率的な養殖システムの構築などについて調査するとともに、養殖業を産業として発展させていくための将来展望についての意見交換を行った。 ・高知県庁では、水産業を持続可能な基幹産業として維持していくため、女性がどのように参画し、活躍できる環境づくりを進めているのかについて調査し、意見交換を行った。
活動の結果等	・世界における養殖の現状や養殖方式について説明を受け、環境への配慮を含めた魚介類の安定供給と持続可能な養殖の重要性について理解を深めることができた。 ・飼料価格の高騰が大きな課題となっており、また閉鎖循環式養殖ではパージ処理が重要であるなど、方式ごとに一長一短があることを確認した。これらを踏まえ、今後の県内養殖業発展に向けた議論に活かしていきたい。 ・今後は「育種」が重要であるとの指摘を受けた。ニッスイの先進的な取組を参考に、県内養殖業との連携の可能性を模索していきたい。 ・高知県では人口減少による人手不足対策の一環として「高知の水産女子会」を設立し、女性の水産業参画促進に取り組んでいる。女性が従事しにくい職種（例えばカツオ 1 本釣りなど長期間の乗船など難しい）がある現実を踏まえつつ、活躍の場を広げている点は大変参考となり、本県でも応用できる施策を検討・提案していきたい。
関連領収書番号	810, 902, 903



高知大学 深田教授



深田教授との意見交換



高知大学 物部キャンパス 入口



高知県庁 前



高知県水産業振興課との意見交換

【様式】

活動報告（県外） 4

議員名：河上 定弘

活動事項	駐日インド大使館「インドとっとりデー」における交流促進に関する視察調査
活動年月日	R7年9月9日（火）移動 13：30～17：40 政務活動
場所	駐日インド共和国大使館（東京都千代田区九段南）
活動の相手方	シビ・ジョージ駐日インド特命全権大使ほか関係者、鳥取県輝く鳥取創造本部 鈴木本部長ほか関係職員
活動の目的	鳥取県と駐日インド大使館が共催する「とっとりデー」に参加し、本県とインド共和国との交流の現状を調査するとともに、更なる交流促進に向けた提案を行い、今後の取組に活かすことを目的とする。
活動の内容	・式典、セミナー、交流会に参加し、本県とインドとの文化・観光・ビジネス・人的交流の現状を幅広く確認するとともに、インド側が本県に対して期待している分野や、今後のビジネス連携、人的マッチングの可能性についても調査を行った。また、各分野の関係者との意見交換を通じて、交流促進に向けた課題や今後の展望について理解を深めた。
活動の結果等	・シビ・ジョージ駐日インド特命全権大使が明日（9/10）帰国され、外務副大臣に就任予定とのことで、大変お忙しい日本での貴重な時間を「とっとりデー」に費やしていただいたことに感謝申し上げたい。 ・鳥取県観光大使のMAYOさん、チーム鳥取・インド輸出蔵元会の大谷さん、江岡さん、大成工業の松本部長、ノーチスラボの小杉取締役、ROの藤井社長、東亜ソフトウェアの秦野社長、IPPORA合同会社の田中代表にそれぞれの取組について説明を受け、今後のインドとの交流拡大の可能性を強く感じた。併せて、インド側からは水資源、医科学に関する説明があり、投資の要請もあったことから、これらの分野における連携促進を行うべきと感じた。 ・また、MAYOさんのようにSNS（YouTube）を活用し、鳥取の魅力を発信することは、極めて効率的で効果的であり、今後の展開を提案したい。 ・本県としても、インドの高度人材や介護人材をはじめとする人的交流を推進していくことが重要であるので、インド議連としても積極的に活動し、今後の有効な施策などについて、議会などを通じて提案、議論していきたい。
関連領収書番号	811



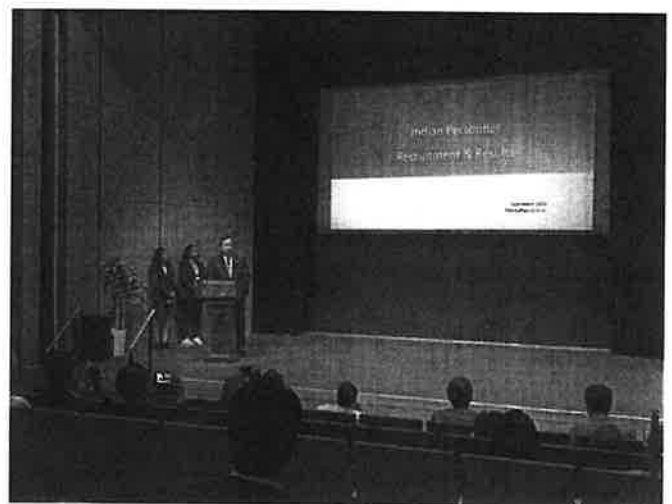
インドとっとりデー 式典



駐日インド大使館 前



ステージで



セミナー



インド大使代理とインド議連メンバー



インドと鳥取県の館内展示

【様式】

活 動 報 告（県外） 5

議員名：河上 定弘

活 動 事 項	関係人口・移住人口創出に向けた「とっとり・おかやま新橋館」の視察調査
活 動 年 月 日	R 7 年 9 月 2 3 日（火）10：00～11：30 政務活動
場 所	とっとり・おかやま新橋館（東京都港区新橋）
活 動 の 相 手 方	鳥取県東京本部 橋上 魅力発信ディレクター、鳥取県・岡山県共同アンテナショップ運営協議会 加藤事務局ほか関係者
活 動 の 目 的	「とっとり・おかやま新橋館」を訪問し、関西・大阪万博の影響やインバウンド需要の動向などを確認するとともに、併設する「移住・しごと相談コーナー」はじめ館内施設の利用状況などを調査し、今後の関係人口や移住人口の創出・拡大に向けた取組の検討や提案に繋げることを目的とする。
活 動 の 内 容	・大阪・関西万博の影響やインバウンドを含む館内来館者状況を確認した。 ・「移住・しごと相談コーナー」や「オンライン多目的スペース」の利用状況について、担当者から説明を受け、意見交換を行った。また「ももてなし家」やイベントスペースなどの利用実態を確認し、関係者と意見交換を行い、今後どう取り組んでいくべきか理解を深めた。 ・ショップ内販売品に関して説明を受け、岡山県との連携や鳥取県チャレンジ商品の取組などに関して意見交換を行い、課題や今後の展望について理解を深めた。
活 動 の 結 果 等	・大阪・関西万博による効果については、現時点で確認できなかった。今後は来館者への簡単なアンケートなどの実施も検討すべきと感じた。 ・インバウンドは現状多くはないが、訪日外国人数の増加状況を踏まえると対応を検討すべきであり、今後の取組について提案していきたい。 ・「移住・しごと相談コーナー」は月7～8件の利用があり、Iターン・Uターンがほぼ半々であった。まずは関係人口創出に向け、更なる利用促進策を検討すべきと感じた。 ・また「オンライン多目的スペース」は周辺と比較すると低価格でネット環境も整っているの、広報を強化して利用増加に繋げていくべき。 ・「ももてなし家」やイベントスペースは、同窓会や県関係者の利用が多いとのことであり、今後の発展を支援していきたい。 ・梨をテーマにした出店ブースが好評であった。次は岡山県のぶどうブースが予定されているとのことで、両県の強みを活かした販売戦略は有効であると感じた。 ・鳥取県チャレンジ商品の販売はいい取組であると思う。今後の継続、発展を後押ししていきたい。 ・「とっとり・おかやま新橋館」は鳥取県をPRする大変重要な拠点であり、より効果的、効率的な利用、取組について、今後も提案や議論していきたい。
関連領収書番号	908



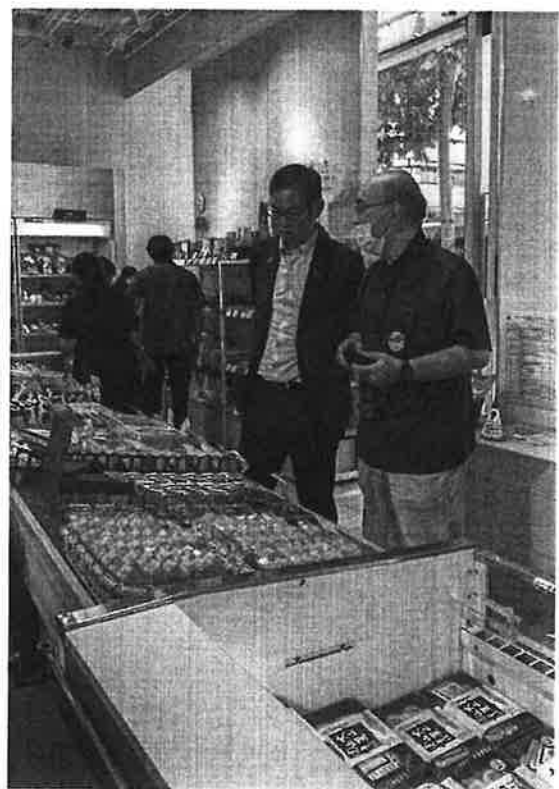
とっとり・おかやま新橋館



移住・しごと相談コーナー



オンライン多目的スペース



ショップ内



梨ブース



鳥取県チャレンジ商品 コーナー

【様式】

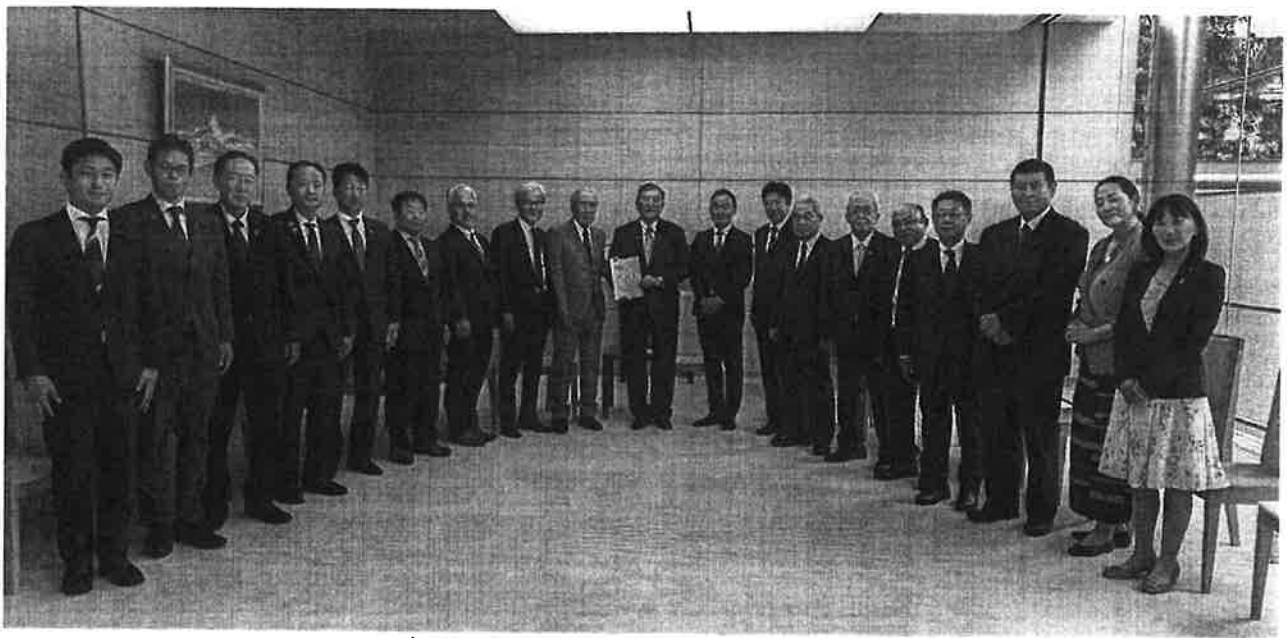
活動報告（県外） 6

議員名：河上 定弘

活動事項	地方創生など鳥取県の発展のための要望・意見交換、及び、我が国の領土・主権に関する調査・研究
活動年月日	R 7 年 1 0 月 9 日（木）移動、11：30～16：05 政務活動 同上 1 0 日（金）10：00～11：00 政務活動、移動
場 所	総理官邸、内閣府、参議院議員会館（東京都千代田区永田町） 領土・主権展示館（東京都千代田区霞が関）
活動の相手方	石破内閣総理大臣、赤沢経済再生担当大臣、青木内閣官房副長官、舞立参議院農林水産委員長、藤井参議院議員、出川参議院議員ほか関係者・関係職員 石井領土・主権展示館事務局長ほか関係職員
活動の目的	石破総理、赤沢大臣をはじめとする鳥取県選出国會議員と面談し、要望活動や意見交換を行うことで、地域課題を共有し、持続可能な鳥取県の発展に向けた方策に繋げることを目的とする。 また、我が国の領土・主権、特に北方領土・竹島・尖閣諸島に関して正確な歴史認識や知識を学ぶことで、今後の取組の検討や提案に活かすことを目的とする。
活動の内容	・各国会議員と直接面談し、地方創生をはじめ鳥取県の発展に直結する課題に関して要望を行うとともに、率直な意見交換を実施した。（主な要望事項は別紙のとおり） ・また、国立の展示施設である「領土・主権展示館」を訪問し、石井事務局長による説明にてご案内いただき、北方領土・竹島・尖閣諸島に関する正しい歴史認識や我が国の立場などについて意見交換を行った。
活動の結果等	・各国会議員との意見交換を通じて、東京一極集中を是正し、地方創生を推し進めることが、鳥取県の発展のためであり、持続可能な日本を築くことに繋がると改めて感じた。国内外、県内外に課題が山積する中で、国政と連携した更なる取組の推進や提言、そのための議論を議会などを通じて積極的に行っていききたい。 ・2018年に新設された「領土・主権展示館」を石井事務局長の案内のもと視察し、厳しい国際情勢の中で、我が国がなぜ、そしていかに領土と主権を守るべきか、その姿勢や課題について理解を深めた。 ・特に、北方領土、竹島、尖閣諸島などに関しては、日本の置かれている現状や正しい歴史認識の重要性を再確認した。今後の議論や政策に活かし、実効性のある活動に繋げていきたい。
関連領収書番号	1001, 1003, 1007

R7.10.9 国の政策等に関する提案・要望項目

要望先府省	要望項目
内閣官房 内閣府	○地方創生のさらなる推進について ○防災庁の地方拠点設置について
総務省	○地方税財源の充実・強化について ・税源の偏在是正（※東京一極集中の是正に向けた税制の改革） ・年収の壁の見直しやガソリン暫定税率を廃止した場合の地方財政への配慮
国土交通省	○高規格道路ネットワークの整備促進等について ・米子・境港間の高規格道路の早期事業化 ・山陰近畿自動車道（鳥取～覚寺間）の早期事業化 ・山陰道（北条道路）の整備促進 等 ○「境港」及び「鳥取港」の機能強化について ○防災・減災、国土強靱化の強力かつ計画的な推進について
農林水産省	○持続的な水田農業に資する新たな水田政策の実施について
文部科学省	○高校無償化に係る財政支援について
スポーツ庁	○2巡目国民スポーツ大会に関する早期の見直しについて



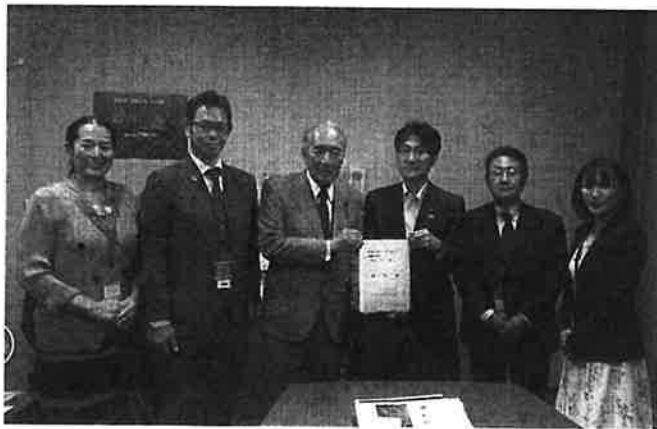
石破 茂 内閣総理大臣への要望活動・意見交換



赤沢 亮正 経済再生担当大臣



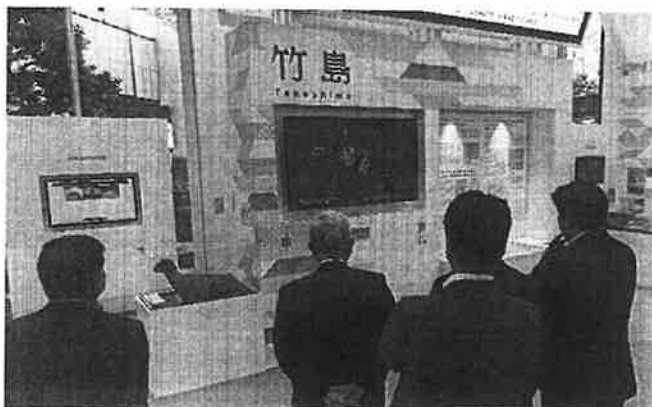
青木 一彦 官房副長官



舞立 昇治 参議院農林水産委員長



領土・主権展示館 石井事務局長による説明



「竹島」展示コーナー



イマーシブ・シアター

【様式】

活 動 報 告（県外） 7

議員名： 河上 定弘

活 動 事 項	衛星データを活用した取組に関する調査・研究、及び、中海・宍道湖 8 の字ルート整備促進に向けた要望
活 動 年 月 日	R 7 年 1 0 月 2 1 日（火）移動、宿泊 同上 2 2 日（水）9：45～11：00、12：10～13：30 政務活動
場 所	株式会社スペースシフト（東京都千代田区大手町） 衆議院第二議員会館、参議院議員会館（東京都千代田区永田町）
活 動 の 相 手 方	株式会社スペースシフト 金本社長ほか会社関係者 金子国土交通大臣、杓掛国土交通省道路局長ほか国交省、NEXCO 西日本関係者、石破衆議院議員、赤沢経済産業大臣ほか事務所関係者
活 動 の 目 的	・衛星データを活用した解析システムの構築や運用に関する最新の取組に通じて調査し、本県での導入や活用促進、また県内企業との連携などに繋げることを目的とする。 ・中海・宍道湖 8 の字ルートの整備促進に向けて、関係者が団結して国などへの要望活動を行うとともに、米子-境港の高規格道路の早期事業着手に繋げることを目的とする。
活 動 の 内 容	・株式会社スペースシフトの金本社長とお会いし、衛星データの活用に関する最新の取組や今後の展望などについて率直な意見交換を行った。 ・中海・宍道湖 8 の字ルート整備促進総決起大会に参加し、平井知事、圓山知事、上定・伊木・飯塚市長など関係者とともに国（金子国交大臣など）に対して要望活動を行った。
活 動 の 結 果 等	・人口減少に伴う人手不足や、働き方改革の影響が大きい現状を踏まえ、それを克服するための衛星データを活用した最新の取組について説明を受けるとともに、今後の動向や本県での活用の可能性について意見交換を行った。特に、防災・減災、国土強靱化や、農林業分野での活用が期待できるのではないかと感じた。今後、議会での提案や議論に繋げていきたい。 ・中海・宍道湖 8 の字ルートの整備促進に関しては、現在、計画段階評価にある米子境港の高規格道路の事業化にも大きく関わるところであり、知事・市長をはじめ山陰両県の議員、経済関係者が団結して国に対して早期の事業実施や、そのための予算確保に向けた要望を粘り強く行うことが重要である。そうした状況の中で、今回、昨日就任された金子国土交通大臣が出席され、直接要望を行うことができたことは大変大きな意義があった。大臣から「熱意をもって」との言葉があったが、引き続き調査・研究を重ねながら、熱意をもって整備促進に向けた取組を着実に進めていきたい。
関連領収書番号	907, 1008

2025 年 10 月 22 日 (株) スペースシフト
中海・宍道湖 8 の字ルート整備促進総決起大会



(株) スペースシフト 金本社長と



主催者挨拶 (平井知事)



主催者挨拶 (丸山知事)



金子国土交通大臣 挨拶



要望書 手交



横断幕